This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problems Mailbox.

(19)日本四株洋ナ (JP) 命第 华 字公数(A)

(11)特殊出口公司各号

特開2000-227832

(43)公园日 平成12年8月15日(2000.8.15) (P2000-ZZ783ZA)

		G06F	(51) lat Q.
3/033	3/00	3/023	
310	653	340	4 20 (8)
		G06F	18
3/033	3/00	3/023	
310Y	653A	340Z	((50).1-cb-4

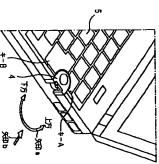
日本日本 未日末 日本項のは14 OL (全 17 頁)

公路可に破く			
押租士 小陆 晃 (外2名)			
(74) PSZ 100067736	(74) (AT)		
一株式会社内			
党京福品川区北品川6丁目7至55号 ソニ			
和本 克印	(72)発明者	日本 (JP)	(33) 紅先枕主弘国
一株式会社内		平成10年12月4日(1998.12.4)	(32) 紅先日
東京初島川区北島川6丁目7名35号 ソニ		特口平10-345846	(31) 四先机主强各号
12 金属 17	(72)発明省		
文京G品川区北品川6丁目7公5号		平成11年5月13日(1999.5.13)	(22)#ECJ#
ソニー株式会社			
(71)出团人 00002185	YEM(12)	☆口平11−133389	(21)田口亞男

(54) 「乾明の名称] 位现如理模位及以方法、並以定数件

望のアプリケーションプログラムを選択し、起動するま たには煩雑な説作を繰り返すことになる。 ートメニューボタンを僻えたタスクパー上でユーザカ所 【関因】 従来のオペレーティングツステムでは、スタ

印bに示す移動設件に対応して所定の処理を実行する。 示す回転操作に対応して所定の処理を実行し、同図中矢 けられている。ジョグダイヤル4は、図3中の矢印aに た、キーA,キーBとほぼ回じあさになるように取り付 ド5のキーA,B(右端のキー)の間に組み込まれ、ま (解决手段】 ジョグダイヤル4は本体2上のキーボー



4:ジョグダイヤル 5:サーボード

【特許請求の毎囲】

)

Ξ

特関2000-227832

る第1の実行手段と、 【蔚求項1】 回転数件に対応して所定の処理を実行す

段とを備えることを特徴とする伯級処理装員。 移動設作に対応して所定の処理を実行する第2の実行手

各扱作に応じた所定の処理を実行させる制御手段を僻え 1の実行手段及び上記第2の実行手段の状況を監視して 【蔚末項2】 「口源スイッチ投入状況において、上記第

に応じた所定の処理を実行させる制御手段を備えること 行手段及び上記第2の実行手段の状명を監視して各級作 ることを特徴とする耐水項1配Qの伯報処理接回。 ィングプログラムが起動しているときに、上記第1の典 【蔚求項 3 】 ・ 虹源スイッチ投入状態でかつオペレード

向への移動投作に対応する第2の投作部とを有する投作 【蔚求項4】 回院設作に対応する第1の設作部と一方

を特徴とする耐水項1記録の情報処理接位。

とする情報処理接回。 た所定の処理を実行する制御手段とを備えることを特徴 上記扱作手段に対する奴作状態を監視して各扱作に応じ

を特徴とする野泉県 4 記録の荷機処理接収。 **少いて奴作回館なプログラムを暗心的にガイドすること** て、上記技作手段に対応するプログラムからの通知に基 【蔚泉項 5 】 上記制御手段は、ロ源投入状態におい

特徴とする耐水項 4 記録の情報処理後回。 通知に基づいて複作に対応したガイドを表示することを **投作手段に対応するアプリケーションプログラムからの** ベレーティングプログラムが起動しているときに、上記 【蔚求項6】 上記制御手段は、口源投入状態でかつオ

る第1の実行ステップと、 【前求項7】 回転数件に対応して所定の処理を実行す

テップとを含むことを辞録とする信頼処理方法。 移助設作に対応して所定の処理を契行する第2の契行ス

とを特徴とする間米項7間Qの何袋処理方法。 に応じた所定の処理を実行させる制御ステップを含むこ ログラムが起勤しているときに、上記第1の実行ステッ 合むことを特徴とする期末項7記録の情報処理方法。 各数作に応じた所定の処理を挟行させる制御ステップを ステップ及び上記第2の契行ステップの状態を監視して プ及び上記第2の実行ステップの状態を抵視して各投作 【群求以8】 (虹源投入状態において、上記第1の実作 「甜米項 9 】 (白頭按入状婦れなし丼スフーティングレ

竹银処理方法。 の処理を実行する制御ステップを含むことを特徴とする 作手段に対する技作状態を臨視して各数作に応じた所定 方向への移動設作に対応する第2の設作部とを有する数 【野米風10】 回帰数令に対応する第1の数命調と一

に基づいた技作回館なプログラムを暗層的にガイドする おいて、上記技作手段に対応するプログラムからの通知 【四块丛11】 上記制御ステップは、口源投入状態に

ことを特徴とする間求項10記録の情報処理方法。

する第1の実行ステップと、 に、上記奴作手段に対応するアプリケーションプログラ ることを特徴とする奴隶項10記録の位録処理方法。 かつオスレーティングプログラムが起回しているとき 【蔚永項12】 上記制御ステップは、口頭投入状況で ムからの通知に基力いて設作に対応したガイドを表示す 【蔚永以13】 回院数件に対応して際記の処理を挟行

幾日に東行させる媒体。 テップとを含むことを特徴とするプログラムを何級処理 移助扱作に対応して所定の処理を実行する第2の実行ス 【蔚永頃14】 回気数待に対応する第1の数待期と一

方向への移動扱作に対応する第2の扱作部とを有する数

作手段に対する奴作状婦を匿視して各奴作に応じた所足

の処理を契行する制御ステップを含むことを特徴とする プログラムを信報処理装団に実行させる集体。 【免明の詳細な説明】

[0001]

の処理を実行することができるようにした情報処理装記 及び方法、並びに媒体に関する。 方法、並びに媒体に関し、特に、簡単な技術により所定 [0002] 【発明の囚する技術分野】本発明は、情報処理装记及び

かりをもたらすシステムが広く使われるようになった。 066号公数により評価に紹示されている。 このタスクバーの使用に関する技術は特闘平8-255 クバーを提供し、ユーザにボタンのような視覚的な手が ブ・ウィンドウを有する各アプリケーション用に、タス ビュータのオペレーティングシステムとして、アクティ s95(屈苺)やWindows98(屈苺)の苺なパーソナルコン 【従来の技術】近年、米国マイクロソフト社製のWindow

衒えてもよい。 ために使用することもできる。タスクバーには、プログ ッティングのコントロールのためのメニューに対するコ **ラムのランチ、ドキュメントのオープン及びシステムセ** 与えるとともに、当該アクティブウィンドウを表示する 在アクティブになっているウィンドウについての右段を スクバーは視兌的な手がかりとして、ユーザに対して及 ーザのアクセスを回館にするスタートメニューボタンを 【0003】以下に上配公保から引用して説明する。タ

スポタンをクリックすると、スタートメニューが表示さ ーンルたスタートメニューボタンをポイントし、在マウ スタートメニューボタンは、ユーザがプログラム、ドキ メニューを聞くための手段として協能する。マウスのカ **ロメント、システムのセッティング、ヘップ信信等にア** クセスするための中心的な協所として倒作するスタート 一上のスタートメニューボタンを設作する側を挙げる。 を向えるコンピュータシステムにおいて、上記タスクパ ィスプレイ等の周辺装位と、中央処理装位(CPU)と 【0004】例えば、マウス、キーボード及びビデオテ

3

ケーションプログラム及びプログラムグループを表示さ ログラムメニューにはユーサが選択できる複数のアプリ れたプログラムメニューへのアクセスが可能となる。フ ニューアイテムでは、スタートメニューから陪廻表示さ イテムが煩えられている。このうち、「プログラム」メ 【0005】スタートメニューには、例えば「プログラ 「複糅」、「殻伝」、「ヘルプ」第のメニューア

には複雑な媒作を繰り返すことになる。 のアプリケーションプログラムを選択し、起動するまで トメニューボタンを備えたタスクバー上でユーザが所望 【免明が解決しようとする課題】ところで、上記スター

プログラムグループであったときにはさらにポイントと プリケーションプログラムを起動する。 クリックを行う必要がある。そして、CPUが所望のア し、在マウスボタンをクリックする。アプリケーション ションプログラムの表示をマウスのカーンパれポイント る。そして、プログラムメニュー上の所留のアプリケー ボタンをクリックし、プログラムメニューを表示させ ーアイテムをマウスのカーソルでポイントし、在マウソ る。次に、スタートメニューから「プログラム」メニュ スポタンをクリックし、スタートメニューを表示させ **ニューボタンをなり又のカーンルたボイントし、在なち** 【0007】すなわち、先ずタスクパー上のスタートメ

し、所知の処理を行う場合にも同様である。 ラムから「ヘルプ」等のメニューアイテムをクリック としては使い謎かった。また、スタートメニュープロク 作を繰り返させることになり、ユーザインターフェース ョンプログラムを起動するまでには、ユーザに煩雑な抜 【0008】このようにユーザが原因したアプリケーシ

び方法、並びに媒体の提供を目的とする。 り所望の処理を実行させることができる情報処理被配及 であり、例えばジョグダイヤルを用いた簡単な操作によ 【0009】本発明は、上記実情に鑑みてなされたもの

ことを特徴とする。 応して所定の処理を挟行する第2の実行手段とを備える 所定の処理を実行する第1の実行手段と、移動操作に対 既は、上記録題を解決するために、回転扱作に対応して 【瞑題を解決するための手段】本免明に係る情報処理袋

する投作手段と、上記投作手段に対する投作状態を監長 **昭と一方向への移動複作に対応する第2の複作器とを有** 製題を解決するために、回転操作に対応する第1の操作 して各扱作に応じた所定の処理を実行する制御手段とを 【0011】また、本発明に係る情報処理装置は、上記

似えることを特徴とする。 【0012】本発明に係る情報処理方法は、上記課題を

解決するために、回転扱作に対応して所定の処理を実行

処理を実行する第2の実行ステップとを含むことを特徴 する第1の実行ステップと、移動操作に対応して所定の

た所定の処理を実行する制御ステップを含むことを特徴 する設作手段に対する設作状態を監視して各製作に応じ 部と一方向への移動設作に対応する第2の設作部とを有 課題を解決するために、回転製作に対応する第1の製作 【0013】また、本発明に係る情報処理方法は、上記

ために、回転扱作に対応して所定の処理を実行する第1 ログラムを情報処理装置に実行させる媒体であることを 行する第2の実行ステップとを含むことを符徴とするプ の実行ステップと、移動技作に対応して所定の処理を実 【0014】本発明に係る媒体は、上記課題を解決する

向への移動操作に対応する第2の操作部とを有する操作 **生概とする。** ログラムを情報処理装団に実行させる媒体であることを 処理を実行する制御ステップを含むことを特徴とするプ 手段に対する奴作状態を監視して各数作に応じた所定の 決するために、回転製作に対応する第1の製作部と一方 【0015】また、本発明に係る媒体は、上記課題を解

行される。 て所定の処理が実行され、移動操作に対応して処理が実 【0016】上記各発明においては、回転設作に対応し

[0017]

体2に対して聞いた状態を示す外観斜視図である。図2 体2のジョグダイヤル4側の側面図である。 ジョグダイヤル4付近の拡大図である。また、図4は本 は本体2の平面図、図3は本発明の要部となる、後述の る表示部3により構成されている。図1は表示部3を本 本的に、本体2と、この本体2に対して関閉自在とされ ている。このノート型パーソナルコンピュータ1は、基 としてのノート型パーソナルロンピュータの外観を示 の情報処理装配及び方法、並びに媒体が適用される一例 て図風を参照しながら説明する。図1~図4は、本発明 【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態につい

の上面に扱けられている。 としたのタッチバット6、そして低級スイッチ8が、そ 飲さ するときなどに扱作されるポインティングデバイス するとき級作されるキーボード5、マウスカーソルを移 【0018】本体2には、各種の文字や記号などを入力

その他のLEDよりなるランプが扱けられている。 口治ウンプBL、必要に応じてメッセージランプML、 る。さらに、表示的3の右上部には、白淑ランプPL、 るLCD (Liquid Crystal Display) 7が設けられてい 【0019】また、表示部3の正面には、画像を表示す

を説明すると、ジョグダイヤル4は本体2上のキーボー ド5のキーA,B(右端のキー)の間に組み込まれ、 【0020】次に、ジョグダイヤル4の詳細な設定位置

た、キーA,キーBとほぼ同じ高さになるように取り付

のショグダイヤル4の行う所定の処理にしいたは後述す bに示す移動操作に対応して所定の処理を実行する。こ ず回転操作に対応して所定の処理を実行し、同図中矢印 【0021】ジョグダイヤル4は、図3中の矢印虫に示

子部品の具体例である。 岡の出願人により出願された、特関平8-203387 て説明する。このジョグダイヤル4は、本件出觀人と共 **号公報に関示された、プッシュスイッチ付回転換作型句** 【0022】先ず、このジョグダイヤル4の特成につい

いように固定されている。 きるようにされるが、アッシュスイッチ部13は動かな 伝型エンコーダ部12は一定の範囲で水平方向に移動を ダ母12とブッシュスイッチ母13とを配してなる。回 に示すように、接点取付基板11の上に回転型エンロー 【0023】すなわち、このショグダイヤル4は、図5

外部へ伝達するための増子18を有する接点板19が影 する窪み17及び回転型エンコーダ節12の電気信号を ュスイッチ部13を固定するための押し止め毀16を有 移動用ガイドレール部14を有する強み15と、ブッシ に、早枝状の成形被暗体に、回転型ドンローダ毎12の 【0024】撥点取付益版11には、図6に示すよう

撥点板19に弾接している。 ら下方に突出した弾性接点脚22が接点取付基板11の 箱形ケース20の側面を水平方向に押され、通常状態に を参照)に位四次めされたネジリコイルパネ29により 接点取付基板11の上のピン状突起28(図6,図10 作タイプの円板状操作つまみ27とによって構成され 暗製の回転体25と、この回転体25や回転媒合たまる 接点脚21が弾接する放射状接点板24を有する成形板 魯23により回転回館に保持され、円板状で下面に弾佐 に示すように、接点取付基板11の盤み15にはめ込ま ように付勢されていると共に、箱形ケース20の底面か おいへ、アッシュスイッチ幣13々の晒れた臼町にある ようにその上方にネジ26により取り付けられた外回協 点体45から上方及び下方に各々突出した弾性接点脚2 0の原暦にインサート成形により殴り付けられた存在被 れた成形樹脂製の箱形ケース20と、この類型ケース2 5、図8に示す矢印H1方向)に動き得るように保持さ れんガイドワール14により一定の僑囲や水平方向(図 1, 22と、箱形ケース20の中央に一体化された円柱 【0025】回転型エンコーダ部12は、図7及び図8

接点取付基板 1 1の窪み 1 7にはめ込まれて固定されて に尽すように、被令ボタン30岁回気魁メンローダ81 2に対向し、後端部が押し止め戦16に当接するように 【0026】 ブッシュスイッチ部13は、図5及び図も

> から外部に突出するように取り付けられる。 のプリント配線基板33の取付孔34A,34B,3 図9に示すように、接点取付路板11の下回の脚側11 仰成されるものであるが、瓜子機器に破むされる場合は 起31ダブッシュスイッチ毎13の模合ボタン30の先 コーダ部 1 2 に円板状つまみ 2 7のプッシュスイッチ部 5,36に押入及び半田付けして接続され、回転型エン 及びブッシュスイッチ郎13の接続用塩子32か、機器 A, 11Bと回転型エンコーダ母12の破壊用塩子18 堪に当破している。 このジョグダイヤルは以上のように 【0027】そして、図8に尽すように回転型エンロー 13の何とは反対側の始部機器の外機ケース37の際間 夕郎12の指形ケース20に一体に設けられた顕動用段

回転操作に連動したバルス信号を発生する。 接した船動し、いの被強部分は円段技績作しまみ27の 力を加えて回転させることにより、回転体25が箝形ケ 7の外接ケース37からの突出部分27Aに接続方向の する。先ず図9及び図10に示すように、回転型エンコ 下国の放射状接点板24の上を上方導性接点舞21か弾 ース20の中央の円柱軸23を中心として回転し、その ーダ部12の上級に取り付けられた円板状操作しまみ2 【0028】次に、ジョグダイヤルの想作にしいて既思

のアリント配類基板33の回路に伝達される。 に伝わってから、外部接続用の路子18を経て四子機器 21から下方弾性接点脚22に伝わり、更に弾性接点脚 2 2 が弾接している接点取付基板 1 1の上の接点板 1 9 【0029】そして、このバルス信号が上方弾性接点脚

機器のプリント配線基板33の回路に伝達される。 させ、その信号が図りに尽す接続用塩子32を経て位子 た複作ボタン30を押してアッシュスイッチ13を動作 平方向に動かし、箱形ケース20に数けられた突起31 体を接点取付品板11のガイドレール第14に拾って水 方向)の押し力を加えて、回転型エンコーダ部12の全 ゆとプッシュスイッチ部13を結る水平方向(矢印H2 円板状模作しまみ27の段出部分27Aに、しまみの中 11の上のネジリコイルパネ29の付勢力に逆らって、 【0030】また、図11に示すように、競点費付益協

れて図10に示す状態に復帰する。 弾性復元力によって回転型エンコーダ部12が押し戻さ を除へと、接点数付品板11のネジリコイルパネ29の 【0031】円板状操作つまみ27に加えていた押しカ

2の右側回即に配設されたジョグダイヤル4の領域動作 の接点板に弾機させる構成としてもよい。以上が、本体 の接点板19に弾接する構成としたが、これを接点取付 基板11から弾性接点脚を出して粧形ケース20の底面 から下方に突出した弊性接点脚22が接点取付基複11 を接点取付基板11の接続用端子18へ伝達する手段と して、回転型エンコーダ部12の指形ケース20の底面 【0032】なお、回転型エンコーダ毎12の電気信号 ゆサウスノリッツ58とた、こちゆるチッノセットが確 なされている。なお、このノースプリッジ53と後述す CPU51やメインメモリ54周辺の制御を行うように は、例えば、intel社製の400BKなどで構成されており、 CIバス56にも接続されている。ノースプリッジ53 ッジ53が接続されており、ノースプリッジ53は、P されている。ホストバス52には、さらに、ノースプリ 模)プロセッサ等で構成されて、ホストバス52に接続 成例について図12を用いて説明する。中央処理装置 (CPU) 5 1は、例えば、intel社製のPentium (国 【0034】次に、ノート型ロンピュータ 1の異気的様

リが内蔵されている。 していないが、CPU51にも1次的なキャッシュメモ 一夕をキャッシュするようになされている。なお、図示 る。キャッシュメモリ55は、CPU51女便用するF モリ54及びギャッシュメモリ55とも接続されてい 【0035】ノースプリッジ53は、さらに、メインメ

位子メールプログラム54A、オートパイロットプログ が実行するプログラムや、CPU51の動作上必要なデ C、ジョグダイヤルドライバ54D、オペレーティング メモリ54には、起動が完了した時点において、例えば 一夕を記憶するようになぶれている。 具体的に、メイン プログラム54F1~54FnがHDD70から転送さ プログラム(OS)54D、その街のアプリケーション ラム54B、ジョグダイヤル状態監視プログラム54 (Dynamic Read Only Memory) で構成され、CPU5: 【0036】メインメモリ54は、例えば、DRAM

の特価メール取得機能を有している。この維価メール取 ある。電子メールプログラム54Aは、特定機能として からネットワーク経由で通信文を授受するプログラムで 再模能は、プロパイダフフが偉えるメールサーパ78に モデム75を介して電話回線76のような通信回線など 【0037】 粒子メールプログラム54Aは、後近する

> のメールが整倍しているかどうがを確認して、自分気の 対して、そのメールボックス79内に自分(利用者)宛 メールがあれば取得する処理を実行する。

め設定された複数の処理(またはプログラム)などを、 ひんめる。 予め設定された順序で順次起動して、処理するプログラ 【0038】オートバイロットプログラム54Bは、予

基本的な動作を制御するものである。 **や98(共に無碍)、アップルコンドュータ共のいちみ** るアックOS(餌薬)等に代表される、ロンにュータの Eは、例えばマイクロソフト社のいわゆるWindows 9 5 【0039】OS(基本プログラムソフトウェア)54

た、縦方向や横方向に限定せず、各指で操作し易い斜め

回館な位置に配置してもよい。

インティングデバイスであるマウスの側面の親指で操作 方向へ、所定角度を付けて配置してもよい。さらに、ボ

を受け取るリストも持っている。ショグダイヤルドライ **示するために動作する。通常、ジョグダイヤル4のイベ** ばジョグダイヤル4を操作することで何が行えるかを扱 は、上記各アプリケーションから自分がジョグダイヤル バ54Dは、ジョグダイヤル4の操作に対応して各種機 ント符ちになったいるし、アプリケーションからの通知 対応であるか否かの通知を受け取り、例えば対応であれ 【0040】ショグダイヤル状態監視プログラム54C

されるデータに基づいて、表示部3上のLCD7の表示 を患悔するようになされている。 6に接続されており、そのPCIバス56を介して供給 【0041】ビデオコントローラ57は、PCIバス5

の通信ネットワーク80やメールサーバ78等に接続す いる。モデム75は、公衆電話回稿76、インターネッ 込み、あるいはスピーカ65に対して音声信号を供給す トサービスプロバイダ11を介して、インターネット的 る。また、PCIバス56にはモデム75も接続されて ラ64が接続され、マイクロホン66からの入力を取り 【0042】PCIバス56には、サウンドコントロー

d Architecture / Extended Input Output) バス63岩 されるデバイスや、ISA/EIO (Industry Standar ば、intel社製のPIIXHなどで構成されており、各種の るデバイスの慰知等を行うようになされている。 よびエンベディットコントローラ 6 8 を介して接続され ンタフェース61等で構成され、IDEバス62に接続 ションレジスタ 5 9、タイマ回路 6 0、およびIDEイ る。即ち、サウスプリッジ58は、IDE(Integrated 5 8も接続されている。サウスブリッジ 5 8は、例え Drive Ilectronics) コントローラ/コンフィギュフー I/O(Input / Oulpul)を慰얼するよろになどれてい 【0043】また、PCIバス56にはサウスプリッジ

タ (configuration register) 等から構成されている ローラとセカンダリIDEコントローラとの2つのID **Eコントローラ、およびコンフィギュレーションレジス** ョンレジスタ59は、いわゆるプライマリIDEコント 【0044】IDEコントローラ/コンフィギュレーシ

能を実行する。

(いずれも図示せず)。

バス62を介して、コネクタ(図示は省略)に接続して ようになされている。 着されたベイデバイスのコネクタが電気的に接続される バイスであるベイデバイスが被撃されたときに、その被 セカンドHDD、FDDなどといった、いわばIDEデ 等を介して、図示を省略したCD-ROMドライブや、 た、セカンダリIDEコントローラは、他のIDEバス おり、コネクタには、HDD67が接続されている。ま 【0045】プライマリIDEコントローラは、IDE

程で、RAM54内に順次転送され、格納される。 67F1~67Fn等は、起動(ブートアップ)処理の過 7075467A、67B、67C、67D、67E、 1~67m9が記録されている。HDD67内の上記名 67mの他、複数のアプリケーションプログラム67m ドライバ67D、OS(基本プログラムソフトウェア) グダイヤル状態監視プログラム67C、ジョグダイヤル ラム67A、オートパイロットプログラム67B、ジョ 【0046】なお、HDD67には、食子メールプログ

からなりⅠ/0コントローラとして使われる。すなわ 柏耳に破滅された構成されている。 7±-369, ROM70, RAM71, CPU72# ち、 Hンスデットロントロータ 6 8な、 I / O インター ンステットコントローラ 6.8 試、マイクロコントローラ ンスデットロントローラ 6 8 が接続されている。このエ 【0047】ISA/EIOバス63には、さらに、エ

予め格据されている。 ム70D、ジョグダイヤル状態監視プログラム70Eが 一入力監視プログラム70C、ウェイクアッププログラ 470A、タッチバッド入力監視プログラム70B、キ 【0048】ROM70の中には、LED街笛プログラ

動するために各チップ電源の管理を行うプログラムであ 時刻になると、所定の処理(またはプログラム)等を起 れた時刻になったかどうかをチェックして、設定された **から供給される現在時刻データに基力いて、予め数定さ** ラム70Dは、サウスブリッジ58内のタイマ回路60 力を監視するプログラムである。ウェイクアッププログ OCは、キーボード5やその街のキースイッチからのJ 監視するプログラムである。キー入力監視プログラム? ム708は、タッチパッド6からのユーザによる入力を 行うプログラムである。タッチパッド入力監視プログラ **プML、その他のLEDよりなるランプの点灯の制御を プPL、負徴ランプBL、必要に応じたメッセージラン** 【0049】LED短笛プログラム70Aは、**ぬ**扱ラン

は、ショグダイヤル4の回転型エンコーダ部12が回転 70日の詳細は後述する。 グラムである。このジョグダイヤル状態監視プログラム されたが、或いは押されたかを無に監視するためのプロ 【0050】ショグタイヤル状態監視プログラム70E

> 力)を制御するソフトウェアプログラムである。 アプリケーションソフトと周辺機器(ディスプレイ、キ (em) とは、基本入出力システムのことをいい、OSや 書き込まれている。BIOS (Basic Input/Output Sy ーホード、HDD等)の間でのデータの受け渡し(入出 【0051】 ROM70には、さらにBIOS70Fが

帯厩2000−227832

例えば、LED制御レジスタ71Aは、ジョグダイヤル ランプBL、メッセージランプML、その他のLEDよ ステットロントローシ68には、鳥汲ランプPL、鳥治 0パス63に出力するようになされている。また、エン ード5それぞれの操作に対応した信号を、ISA/EI れており、ジョグダイヤル4、タッチバッド6、キーボ ル4、タッチバッド6、キーボード5ガモれぞれ破滅さ タ71Dは、ある時刻を任意に設定することができる。 フラグが格納されるようになっている。 仮定時刻レジス ッチ操作用にジョグダイヤル4が押されると、操作キー 態を表示するメッセージランプMLの点灯を倒倒する。 4が押されて、後述する電子メールの瞬時の立ち上げな スタ等を、レジスタ71A~71Fとして有している。 レジスタ等や、ジョグダイヤル状態監視用の1/0レジ 入力ステイタス、キー入力ステイタス、般定時刻用の各 りなるランアが接続されている。 には、図示を省略したロネクタを介して、ジョグダイヤ キー入力ステイタスレジスタ71Cは、後述するワンタ 【0052】RAM71は、LED側御、タッチパッド 【0053】また、このエンペデットコントローラ68

デットコントローラ68は、亀辺をオン又はオフすると のための倒倒を行うようになされている。また、エンベ り、各プロックに、必要な無源を供給するとともに、 た、角質態第回路73た接続されている。角質態第回路 き操作される電源スイッチ8を監視している。 73は、内臓パッテリ74叉はAC機能に接続されてお 概パッテリ74や、周辺装置のセカンドパッテリの充電 【0054】 エンスデットコントローラの8は、さら

実行し、特に、詳細は省略するが、ノート型パーソナル つまり、エンスデットロントローラ 6 8 弦亀御スイッチ のLCD7に何も取ったいなくたも、無路虧いたいる。 ことができる。つまり、上記各プログラムは、表示部3 A70A、70B、70C、70D、70Eを実行する がオフ状態でも、常に内部電源により、上記各プログラ アイルを起動できるようにしてある。 ユーザが押すたけた好みのソフトウェアやスクリブトフ **電力状態、あるいは電源オフ時に、ジョグダイヤル4を** ロンアュータ 1で、毎用のキーを置けなべとも、プロタ も、常時、ジョグダイヤル状態監視プログラム70Eを 8 ガオフたOS54E がCPU51 で起動していなくて ラマブルパワーキー(PPK)機能を持たせ、例えば省 【0055】エンベデットロントローラ68は、鳥類8

魑鬼視プログラム70Eを実行したときエンベデットコ 【0056】図13~図15を用いてジョグダイヤル杉

 Ξ

ントローラ68のカウンタ(2)87に供給する。 あることを検出すれば、左回転パルスをエンペデットコ ローラ68のカウンタ(1)86に供給する。左回転で あること検出すると右回転バルスをエンベデットロント 右回転であるか、左回転であるかを検出する。右回転で 5は、図15に示す信号Aと信号Bのタイミングを基に ダ節12が左右いずれかに回転されると、回転検出部8 【0057】先ず、ジョグダイヤル4の回転型エンロー

が押されたかを監視している。 87の変化量や、それらの意、さらにジョグダイヤル4 ボーコングによりカウンタ (1) 86、カウンタ (2) ダイヤル状態監視プログラム70Eを実行し、5msの 【0058】エンベデットコントローラ68は、ジョグ

時刻T-1でのカウント値Counter!(T-1)を減算し、カ 7のカウン下窗の擬右軸Counter2を挟める。 の現在時期下でのカウント値Counter! (1) から時期T-ウンタ78のカウント値の変化量Counterlを求める。 転パルスの現在時刻Tでのカウント値Counter1(I)から 【0060】次に、ステップS2において在回転パルス 【0059】先ず、図14のステップS1において右回 でのカウント亩Counteri(I-I)を減算し、カウンタ8

であれば左回転である。 変化量Counter2との患を求める。この変化量の患が負値 ト回の変化量の患を求める。つまり、変化量Counterlと 【0061】そして、ステップS3において上記カウン

レジスタ71F鮭由で通知する。 イヤル4の押下状態と数化量を、割り込みによりI/G されるジョグダイヤルドライバ5 4 Dに現在のジョグダ ステップS5で変化量が検出されるか、あるいはステッ ジョグダイヤル4の押下状態が変化したかを判断する。 S3で米のた奴合皇を判断し、さらにステップS6では の押下状態を取得する。ステップS5では上記ステップ プS6で押下状態が変化したと判断すると、ステップS 7に進み、ホストバス52を介して、CPU51で起動 **【0062】また、ステップS4ではジョグダイヤル**4

終了し、再度5msにステップS1からの処理を繰り返 脚に変化がなければステップS8に進み、ボーリングを 【0063】ステップS6でショグダイヤル4の押下校

4 Cを図16に示す手順で実行する。 は、CPU51がショグダイヤル状態関処プログラム5 【0064】また、電磁スイッチ8がオンされた後に

> ロ子メールプログラム54Aや、その他のアプリケーシ 明した動作と同様である。 U 5 1 側でジョグダイヤルドライバ 5 4 D経由で監視す グタイヤル状態監視プログラム70Eからの処理をCP する。ここたのジョグダイヤルの状態粗鋭は、上記ジョ ョン 5 4 F l~ 5 4 F nがアクティペートされたかを監視 グダイヤル4が操作されたかどうかを監視する。また、 るためのものためり、実質的には上記図13を用いて説 【0065】すなわち、ステップS31では常時、ジョ

る場合はイベント動作に進む。ここでランチャー動作と ランチャー動作に、アクティブなアプリケーションがあ は登録されたアプリケーションを選択させる動作をい アプリケーションかないか有るかを判断し、無い場合は ップS33に進む。ステップS33では、アクティブな 54Dからジョグダイヤル4の操作通知がくると、ステ [0066] ステップS32でジョグダイヤルドライバ

リケーションが低級される。 ランチャーリストには、ショグダイヤルに対応したアプ ストに登録されているアプリケーションが表示される。 する。ジョグダイヤルメニューには、予めランチャーリ ートなアノコケーションが無いいとが保存となりた概然 このランチャー動作は、上述したように現在アクティベ 【0067】ランチャー動作について詳細に説明する。

コケーションが無へ、
コーヤがショグダイヤル4枚図3 た狭行されるショグダイヤル監視プログラム 5 4 Cに接 り、ジョグダイヤルドライバ54Dは同じくCPU51 状態送付でジョグドライバ5 4 Dが受け取る。これによ シュ状態を、上記図13のステップS7でインタラブト 3~図15で説明したように、ジョグダイヤル4のアッ の矢印 b 方向に一度だけ押下したとする。すると、図 1 起動している状態において、アクティベートされたアプ 応したアプリケーションのリストを表示し、起動する。 尽する。ジョグダイヤルメニューにはジョグダイヤルの 【0069】例えば、所定のOS54EがCPU51で 上下、押下に応じてラウンチする、ショグダイヤルに対 一状態を示すジョグダイヤルメニューをLCD7上に表 (割り込み)による、I/Oレジスタ経由からのフラグ 【0068】ランチャー動作が実行されると、ランチャ

コントラストの調整及びアプリケーションの選択という ューには上記音彙の調整、表示即上の輝度の調整、その 整、及びアプリケーションの選択を行うためのアプリケ の概数、LCD7の輝度の関数、そのコントラストの影 た、ジョグダイヤル対応の、例えばスピーカ65の音量 各処理に対応したメニュー項目(「音句」、「舞伎」、 イヤルメニューが表示される。このジョグダイヤルメニ す表示部3のLCD7上に図17に示すようなジョグタ ーションプログラムがCPU51で起動され、図1に示 【0070】すると、予めランチャーリストに登録され

> で説明した徴算を行い、その数化量をCPU 5.1で実行 ヤル状態概視プログラム70mにしたがって上記図14 させると、エンベデットコントローラ68はジョグダイ 的でジョグダイヤル4を図3に示した矢印8方向に回転 レクタAはメニュー項目「音彙」上に表示される。 **示されている。また、この例では、辺期状態として、セ** 【0071】次に、ユーザがセレクタAを移動させる目 「コントラスト」、「アプリケーションの選択」) が表

されるジョグダイヤルドライバ54Dに通知する。

に移動する。また、さらにユーザが、ジョグダイヤル 4 だけ回転させると、セレクタAはメニュー項目「輝度」 ル4を、上記図3の矢印aの下方に所定の距離(角度) 示されている状態において)、ユーザが、ジョグダイヤ 浜、図16のショグダイヤルメニューダしCD7に表示 い処理に対応するメニュー項目上に移動させる。例え 送るのでCPU51はセレクタAをユーザの実行させた ジョグダイヤル状態監視プログラム 5.4 Cに操作通知を Aは、メニュー項目「アプリケーションの選択」に移動 を下方に回転させると、図19に示すように、セレクタ されている状態において(セレクタAが「音量」上に表 【0072】すると、ジョグダイヤルドライバ54Dは

に示すような、メニュー項目「輝度」に対応するサブメ ル4を図3に示す矢印b方向に押下し選択操作を行う。 を最も明るへするとき選択されるサブメニュー項目 するとき選択されるサプメニュー項目「5」から、輝度 ニューが表示される。この例の場合、輝度を最も明るく いわだより多え就図18だ示すようだ、メリュー項目 メニュー項目上に移動したとき、ユーザはジョグダイヤ 作により、セレクタAが、実行させたい処理に対応する 「輝度」上にセレクタAが表示されていた場合、図20 【0073】ユーザのジョグダイヤル4に対する回転接

ル4の回転操作に対応するジョグダイヤル4の変化量が により転視されて、セレクタBが移動する。 られ、さらにショグダイヤル状態監視プログラム54C 強により求められ、ジョグダイヤルドライバ5 4 D に送 上記図 14 にぶつたドンスアットロントロール 68の点 が表示されている。そして、ユーザによるジョグダイヤ 「0」またの、6個のサプメニュー項目「5」~「0」

れるサプメニュー項目「表計算」、インターネットプロ 子メール」、 表計算プログラムを起動させるとき遊択さ れるサプメニュー項目「ワープロ」、電子メールプログ 示すように、メニュー項目「アプリケーションの選択」 示されていた場合、ユーザの選択操作により、図21に グラムを起動させるとき選択されるサブメニュー項目 **ラムを起動させるとき選択されるサブメニュー項目「質** 合、ワープロアプリケーションを起動させるとき選択さ に対応するサブメニューが表示されている。この例の基 一項目「アプリケーションの選択」上にセレクタ A があ 【0074】また、例えば、図19に示すようにメニコ

尽されるものとする。 とき選択されるサブメニュー項目「亀卓」が表示されて は、初期状態において、最上部のサブメニュー項目に表 いる。なお、この例では、サブメニュー上のセレクタ日 「インターネット」、及び電卓プログラムを起動させる

特別2000-227832

択された場合、インターネットプログラムが起動され 例において、サブメニュー項目「インター*。~」 が過 対応した輝度がLCD7に設定される。また、図21の 目「3」が選択された場合、サブメニュー項目「3」に される。例えば、図20の例において、サブメニュー項 クタBを移動させ、ジョグダイヤル4を押下して遊択操 回転操作を行い、選択したいサブメニュー項目上にセレ ブメニュー項目が選択され、それに対応する処理が実行 作を行う。これにより、セレクタ日が表示されているサ 【0075】次に、ユーザがショグダイヤル4に対して

ル4に対して回転操作が行われると、図23に示すよう いるものとする。このとき、ユーザによりジョグダイヤ により、図22に示す日本地図がLCD7に表示されて 画像表示機能を有する所定のアプリケーションプログラ CPU51がジョグダイヤル監視状態プログラム54C ガ大できる。 像をショグダイヤル4の回転操作に対応して紹小または ケーションプログラムではLCD7に表示されている画 は糖小される(元に戻る)。このように、このジョグダ れたときの回転方向と逆方向に回転操作されると、画像 にポインタが示す地点を中心に、画像が拡大される。 ムとする。この例の基合、アプリケーションプログラム グダイヤル対応であることが条件であり、具体的には、 イベント製作さめる。アプリケーションとしては、 リケーションがあった場合について観明する。上述した を実行し、図16のステップS33セアクティブなアプ イヤル対応とされた画像表示機能を有する所定のアプリ 【0077】また、ショグダイヤル4か、回貸が拡大さ 【0076】次に、電源スイッチ8がオンされた後に

は、アプリケーションプログラムにより、図24に示す グダイヤル4の操作について説明する。この例において 機能を有するアプリケーションが起動された場合のショ ような鑑集回因がLCD7に表示されているものとす 【0078】次に、ジョグダイヤルに対応した動画編集

છ88に投斥されている国領コマSのうちの一しの国領 ル4に対する選択操作(押下)により選択された、表示 表示される。その右側の表示部89には、ショグダイヤ する必要がない場合、年に、回復コマSと記述する)が 袋コマのうち、時間的に追続する4個の回袋コマS-1 京館88には、動画を構成する静止画像、いわゆる、画 及び表示部89(画図右側)により構成されている。 ~S-4(以下、画祭コマS-1~S-4を個々に囚廻 【0079】この類集回図は、表示部88(回図在図)

マSに対する所定の関集処理が可能となる。 マSが表示的89に表示されることにより、その画像U コマSが表示される。この例では、このように、画像コ

の場合、表示部88の最上部に表示されたとき)、ユー 後、表示部89に表示された画像コマSに対して頻繁処 が選択され、表示節89に表示される。ユーザは、その より、表示部88の最上部に表示されている画像コマS **ザはジョグダイヤル4に対して磁気袋作を行う。これに** 図の画像コマSが表示部88に表示されたとき(この例 しし、所望の画像コマSを表示部88に表示させる。所 して回転操作を行い、画像コマSをコマ送り又はコマ展 ている状態において、ユーザは、ジョグダイヤル4に対 【0080】このような猛集画像がLCD7に表示され

のため、ジョグダイヤル対応型のアプリケーションは図 割り当てるジョグダイヤルにしいての処路は異なる。こ ションと非対応型のアプリケーションに対してCPUが AM54に記憶されるアプリケーションは全てジョグタ 共にジョグダイヤル対応のソフトウェアたあった。 しゃ ダイヤル状態既視プログラム54Cに通知処理を行って し、HDD67に格納され、起動処理が完了した後にR 2 5 に示すような手頃で C P U 5 1 で実行されるジョグ F3のように非対応のものもある。対応型のアプリケー イヤル対応型ではなく、宏えば、アプリケーション54 【0081】上記具体例としてのアプリケーションは、

視プログラム54Cに対して、自分 (アプリケーショ アプリケーションソフトウェアを加える。 4 Cはジョグダイヤル対応ソフトウェアのリストにその と、ステップS62でジョグダイヤル監視プログラム5 ン)がジョグダイヤル対応であることを宣言する。する 【0082】先す、ステップS61でショグダイヤル闘

固札の吸ぶに しんジョグダイヤルガイ ドという形でユー が、ジョグダイヤルメニューの表示をアプリケーション サバ笛のせるようにしてもよい。 【0083】その後、上記例では特に説明を省略した

図26に示すようなジョグダイヤルウィンドウ90を表 の説明を文字列で通知する。すると、ステップS64で 示し、例えばジョグダイヤルガイド、ズーム、イン、フ ログラム54 Cに今の状態におけるジョグダイヤル操作 **ル対応のアプリケーションはショグダイヤル状態階級ア** イット、アウトのような文字列を表示する。 [0084] すなわち、ステップS63でジョグダイヤ

ヤル監視プログラム54Cのリストを音を換える。 ウィンドウの状態に応じて文字列を変更してジョグダイ は、ステップS65に示すように、アクティベートした 【0085】ジョグダイヤル対応のアプリケーション

ションがアクティブであるときには、ジョグダイヤルウ ィンドウ 9 0 の表示はアプリケーションダジョグダイヤ 【0086】このため、ジョグダイヤル対応アプリケー

ルの操作でとのような動作を行うかの説明を文字列で示

トの具体例を以下に挙げる。 【0087】ジョグタイヤル対応アプリケーションソフ

のとき、ジョグダイヤルウィンドウ90にはスクロール ルウィンドウ 9 0 をピクチャーギアが起動されたときに 表示又は1枚表示された一覧画像を、例えば12.5~ 4に扱示することもできる。それぞれの画像表示部10 の画像表示部105を用いればよい。また、シートビュ た、多数の画像を全て見るには、縮小度を大きくした他 も対応できる。図27にアクチャーギアウィンドウ10 プラウザで画像を見られるHTMLアルバム作成などに 視認させることができる。画像盛形としては360度の 操作により一覧表示でき、ユーザに一目で目的の画像を など様々なリムーパブルメディア内の静止画・動画を挟 イスク、MO、PCカード、その街カード型メモリ媒体 このピクチャーギアは、ハードディスクやフロッピーデ ホームページ上に記録されている。以下、抜粋すると、 p/software/PictureGear/index.htmlのインターネット r) の拝備にしいたは、URLがhilp://vaio.sony.co. ア&画像磁形ツールであるピクチャーギア (PictureGe ュによりウィンドウに合わせて一覧表示画像を強列させ によりメームイン/アウト製作が行えることと、ブッシ ップS64の処理を通して表示する。シートにュー表示 とで何が起きるかを上記図25のステップS63,ステ ウィンドウ101の所定の協所、例えば右下に表示す ウトをジョグダイヤル4の回転(スクロール)、 押下 て、本免明を適用することにより、このズームイン/ア 800%まで応遊にメームイン/アウトできる。そし る。ゲージ付スライド被存得102によりシートにょし 4及び105はズームイン/アウト用のゲージ付スライ 一表示から選択された1枚の画像だけを画像表示部10 1を示す。画像表示部104には多数の画像を任意のス バノラマや写真入りのラベルも作れる。さらに、WWW 中哲理することができるソフトである。各画像は所定の r) (屈茲)がある。このアクチャーギア(PictureGea よりウィンドウサイズにフィットさせる扱作が行えるこ ロスームイン/アウト設作が行えることと、 ブッシュに き、ジョグダイヤルウィンドウ90にはスクロールによ る操作が行えることを表示する。また、1枚表示のと る。その際、ユーザに現在ジョグダイヤルを操作するこ ド説作館102及び103により拭大/齧小説作され - 4 扶婦な一覧後尽(シートアコー後尽)したこる。ま (ブッシュ)により行う。手煩としては、ジョグダイヤ 【0088】先ず、第1の具体例としては、画像ビュー

いても、URLがhllp://vaio.sony.co.jp/software/Ha n'You)(極英)がある。ハのナバン・ユーの評価でし る現在位質の地図表示シールたあるナビン・ユー(Havi 【0089】次に、第2の具体例としては、GPSによ

> 右下に表示される。このジョグダイヤルウィンドウ 9 0 示師112がウィンドウ内に表示される。また、ジョグ インドウ110を示す。三次元表示部111と二次元表 感気で媒作することができる。図28にナビン・ユーウ 昭のあるリアルな視覚で地図を操作できるソフトであ 戯されたいる。以下、抜粋すると、このナバン・4 vinYou/lop.htmlのインターペットホースページ式ご問 して再プッシュにより非表示となることを表示する。 た般定画団の表示時に、上記ステップS 6 5 の処理を通 作に影響するような数定画面の表示が行えることを、ま ユイソ/アウト政令が行えることと、 ノッシュにより故 には、ジョグダイヤル 4 のスクロールにより特図のメー 3 , ステップS 6 4 の処理を通して表示する。この場合 することで何が起きるかを上記図25のステップS6 には上述したようにユーザに現在ジョグダイヤルを挟作 ダイヤルウィンドウ 9 0 も宏えばウインドウ 1 1 0 内の 街途にスクロールできる。飛行機を模擬しているような き、さらに、ポインタを進行したい方向に進めるだけで る。所定の挟作によりフライトの点さを自由に関節で **うに進行に合わせて交蓋点や表示が近づいてへる、遠辺** 【0090】次に、第3の具体例としたは、テレア番組 従来の平面的な地図表示に加え、上空から眺めるよ

ハーソナルロンドュータのハードディスク上に結構さ 像を、MPIG2方式の高回質で録画/再生できる。映像は たテレビ番組や外部入力端子から入力されたビデオの映 イムエンコーダボードが搭載するTVチューナが受信し 夕宮えば「バイオ(vaio)」(医袋)のNPIG2リアルタ れている。以下、抜粋すると、このギガ・ポケットの corder. htmlのインターネットホースページ上で結婚が 「Gigaとデオレローダ」により、パーソナルコンピュー

例となるギガ・ボケットウィンドウ115を尽す。ギガ 処理に関する技術の具体例である。図29に、その具体 明細替及び図面により開示したAVコンテンツ録画再生 ポケットは本件出題人が特題平11-117267号の から再生を開始できる。このため、見たマシーンを発早 分を先送りして、任義のポイントを指定すればその私点 る「フィルムロール模能」を接償している。フィルム部 ムネイル画面を再生に回期して水平にスクロール表示す 的に検出してサムネイル画面を保存する。再生時にはサ オレコーダ」は、緑画中に画面の大きな変わり目を自動 のファイルを再生することができる。また、「Gigaビデ がら韓國済みのシーンを再生したり、既に韓國済みの別 れ、ランダムアクセスで再生できるため、録画を続けな の静止画像データファイルに記憶されている静止画像を ヘジャンプした、衒學よへ限額を楽しめる。このギガ・ ポケットが起動され、AVコンテンツを再生し、複数

> いる伊止画像(ツーンの数わり目の伊止画像)を所足の **坂示させた状態を示している。静止画像表示ウインドウ** 図中の右回から右回に移動する。 過するにしたがって)、 サムネイル画像の表示位徴は、 れる。再生される画像の表示が進むにつれて(時間が経 発生する協合、サムネイル画像は、歯ね合わせて表示さ 目の時点に対応する位置に配置され、静止画像表示ウィ れる)を尽す。サムネイル画像は、そのシーンの数なり 応した所定の時間の未来の時点(これから画像が再生さ 側は、現在位置指示ゲージ172の位置からの距離に対 の過去の時点(既に画像を再生した)を示す。図中の右 2の位位からの距離に対応した所定の時間経過後、所定 点に対応する。図中の左側は、現在位置指示ゲージ17 が示す位置は、現在、すなわち、再生している画像の時 像の時間隔に対応している。現在位置指示ゲージ172 ウィンドウ171の図中の数方向の位配は、再生する画 大きさのサムネイル画像として表示する。 静止画像表示 171は、複数の静止回像データファイルに記憶されて ンドウ171に表示される。シーン数わり目が短時間で

ても、URLがhllp://vaio. sony. co. jp/Gigapockel/re サムネイル画像により、形成の気阻のシーンの数なり回 の時点の間の時間を常に反映し、変化しない。そして、 寮早へ決定でき、その地点から再生を開始でき、見たい ルム部分を先送りしたり、後戻しして任意のボイントを 後戻しし、ブッシュにより決定させる。このため、フィ させ、スクロールによりフィルム部分を先送りしたり、 能」をジョグダイヤル4のスクロール、ブッシュに対応 利用者は、静止画像表示ウィンドウ171に表示される する。サムネイル回復国土の阻潤は、シーンの数わり目 ウ171に表示されるサムネイル画像のみをスクロール 生されてる画像と切り魅した、毎上画像表示ウィンド を迅速に知ることがたき、希望するシーンを置ぐによる シーンを採早へジャン尸して、釣串よへ映像を楽しめ ことがたきる。そこた、上流した「フィルムロール概 【0091】サムネイル画館のドラックなどにより、風

管理が行えるソフトであるギガ・ポケット (GigaPocke

こ)(原体)がある。この光ガ・ボケットの評価にしこ やピデオの映像を応回費かり快適な操作に復画・耳虫・

は、ジョグダイヤル4をスクロール(回転)することに ルウィンドウに根示する。 とにより文告頭にジャンプしたりすることジョグダイヤ よりスクロールアップ/ダウンしたり、ブッシュするこ 6) (風荷)がある。このスマート・ライトにおいて ードプロセッサである、スマート・ライト(SoutiWrit て以下に簡単に説明する。第4の具体例としば、簡易ワ ヨンの具体的(第4~第10具体的)とその動作にしい 【0092】その他のジョグダイヤル対応アプリケーシ

め、再生時記録時にアッシュすると一時停止することを イヤル4をスクロールすることによりステップ実行を進 このスマートスクリプトエディタにおいては、ジョグタ スクリプト (SmarlScripu) エディタ (低低) がある。 る、アプリケーション自動実行ツールである、スマート 【0093】 第5の具体例としては、スクリプトによ

Ξ

生・鑑賞シールである、DVゲート・モーション(fale することによりマークを行うことをジョグダイヤルウィ により一時停止中のコマ送り、コマ戻しをし、ブッシュ ンにおいては、ジョグダイヤル4をスクロールすること motion) (低海) がある。 このDVグート・ホーショ 【0094】頬6の具体例としては、デジタルピデオ用

ジョグダイヤルウィンドウに表示する。

り表示される動画フレームの選択を行わせ、 アッシュに **必わめる。 ユーアーアフーヤー 土れは、 スクローラに よ** ーラーは添付ファイルとして静止画像を用いるときに有 メール用ンファ(メーラー)を起動させる。 ここたのメ より表示される静止画の遊択を行わせ、ブッシュにより の設定である。スチルビューワー上では、スクロールに ワイトノイズを招える年のようなエフェクト時のレベル ルにより各エフェクトレベルの設定を行える。例えばホ できるためである。ファインダー画面上では、スクロー ートしたウィンドウの状態に応じて文字列を変更・表示 に示したステップS65での処理を通してアクティブへ クロール、ブッシュ時の機能を異ならせる。上記図25 倒上、スチルビューワー上、4ーピープワーヤー上たス のスマート・キャプチャーにおいては、ファインダー画 カメラの静止画・動画取り込みツールである、スマート より前記したのと回じメーラーを起動させる。 キャプチャー (Smarl Capture) (商禄) がある。こ 【0095】第7の具体例としては、デジタルビデオ・

り、次曲・前曲の再生を選択させ、ブッシュにより一時 のメディアハーたはジョグダイヤルのスクロールによ ルためるメディアハー(NediaBar)(痴痴)がめる。い 【0096】 第8の具体例としては、音楽関係再生ツー

使ってフォルダをブラウンジングするためのツールであ 合はフォルダの下のファイルリストを表示させ、ダータ る、ジョグダイヤルブラウザ (Jog Dial Browser) があ 設定、100/14出力設定の、フベル変化、決定のために創 には一つ上のフォルダのファイルリストを表示させる。 ルである場合は終了させる。さらにリターンである場合 として、輝成調節、音量調節、消音調節、LCD/VGA出力 る。ジョグダイヤルのスクロールによりリストを上下さ 【0097】頻9の具体例としては、ジョグダイヤルを 【0098】銘10の具体例としては、ホットキー機能 ′プログラムである場合は実行させる。また、キャンセ ブッシュにより、選択したものがフォルダであるは

の処理を対応させて実行させることができる。 ヤルのスクロール(回転)、 ブッシュ(丼下)に、所定 【0099】上近した各具体例においては、ショグダイ り当てられる。

媒体としては、磁気ディスク、CD-ROM、固体メモ **塔を行わせるためのプログラムをユーザに提供する提供** 【0100】なお、ジョグダイヤルに上近したような処

媒体、及びこれらの通信媒体を介して提供されるプログ するものである。 る媒体とは、これら全ての媒体を含め広義の概念を意味 インターフェースで実現してもよく、本願明相書におけ ラムを転送もしくは受信するルーターやモデム等の各種 **リなどの記録媒体の街、ネットワーク、衛風などの通信**

[1010]

実行することができる。 た、容易に複数のメニューを選択する等の所定の処理を ヤル等の回転操作及び移動操作に対応するようにしたの 【発明の効果】以上本発明によれば、例えばジョグダイ

【図面の関単な説明】

-タの外観料視図である。 【図1】本発明を適用したノート型パーンナルコンにょ

- 夕の本体の平面図である。 【図2】上記図1に示したノート型パーソナルコンヒュ

図である。 【図3】本発明の要節となるジョグダイヤル付近の拡大

接点取付基板の料模図である。 【図6】上記図5に示したショグダイヤルの要問となる 【図5】上記ジョグダイヤルの外観料視図である。 【図4】上記本体のジョグダイヤル側の歯面図である。

【図7】上記ジョグダイヤルの正面断面図である。

示す使用機器の側面図である。 (88) 【図 9 】上記ジョグダイヤルの使用機器への装着状態を 上記ショグダイヤルの側面断面図である。

説明するための上面図である。 ーダ部を説明するための一部破断の上面図である。 【図11】上記ジョグダイヤルのブッシュスイッチ部を 【図10】上記ジョグダイヤルを構成する回転型エンコ

コンヒュータの韓気的回路図である。 【図12】上記図1に外観を示したノート型パーソナル

扱しているハード構成を示す図である。 状態を回転検出部を紹てエンペデットロントローラが開 【図13】上記ショグダイヤルの回転型エンコーダ部の

84 状態監視プログラムを実行したときのフローチャートで 【図14】エンスデットコントローラガジョグダイヤル

するためのタイミングチャートためる。 【図15】上記図13における回転被出部の動作を説明

プログラムを説明するためのフローチャートである。 【図17】ジョグダイヤルメニューの表示例を示す図で ノ ヒュータの CP U が実行する ジョグダイヤル状態監視 【図16】白頭スイッチがオンされた後に、ノート型コ

9# 87 図なめる。 【図18】ジョグダイヤルメニューの街の嵌示鉋を示す

図である。 【図19】ジョグダイヤルメニューの他の表示例を示す

【図20】サブメニューの表示例を示す図である。

による表示例を示す図である。 【図22】地図を表示するアプリケーションプログラム 【図21】サンメニューの街の表示例を示す図である。

【図23】上記地図を表示するアプリケーションプログ

ラムによる表示例を示す図である。 ラムによる他の表示例を示す図である。 【図24】編集画面を表示するアプリケーションプログ

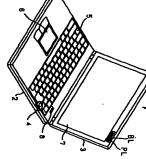
に対して行う通知処理を説明するためのフローチャート CPUで実行されるジョグダイヤル状態監視プログラム 【図25】ジョグダイヤル対応型のアプリケーションダ

【図26】ジョグダイヤルメニューの表示をアプリケー

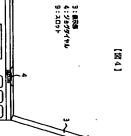
(<u>8</u>

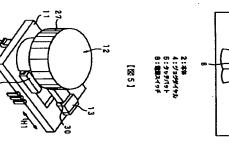
の具体例のウィンドウ表示例を示す図である。 ション固有の表示にした具体例を示す図である。 1 ノート型パーソナルコンピュータ、2 本体、 の具体側のウィンドウ表示例を示す図である。 の具体例のウィンドウ表示例を示す図である。 【図29】ジョグダイヤル対応アプリケーションの第3 【図28】ショグダイヤル対応アプリケーションの第2 【図27】ジョグダイヤル対応アプリケーションの第1 【体与の概形】

後示的、4 ショグダイヤル、5 キーボード、6 タ ッチバッド、7 LCD

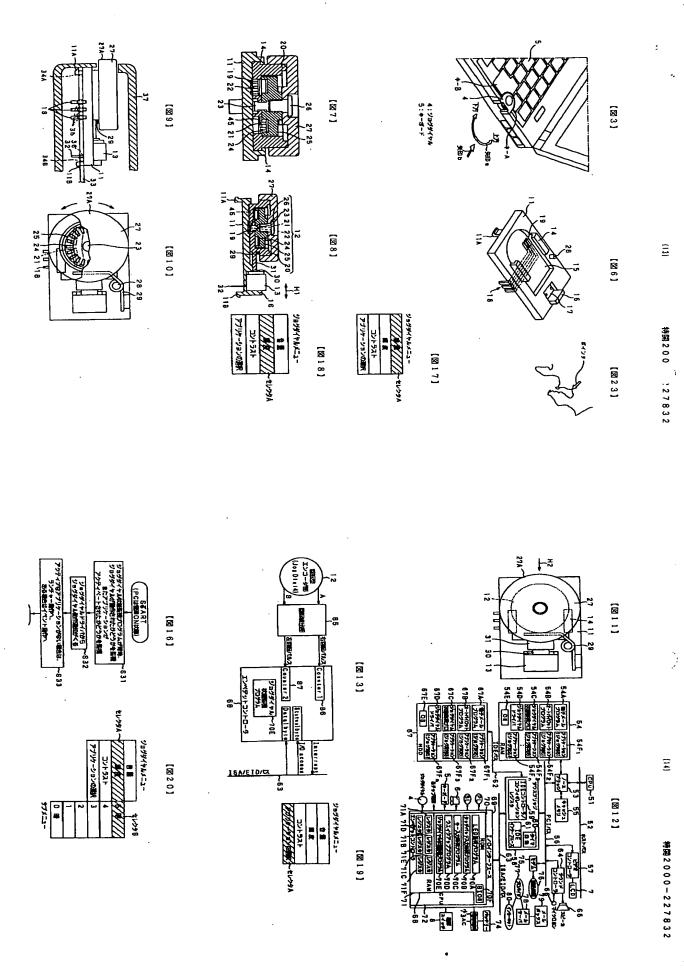


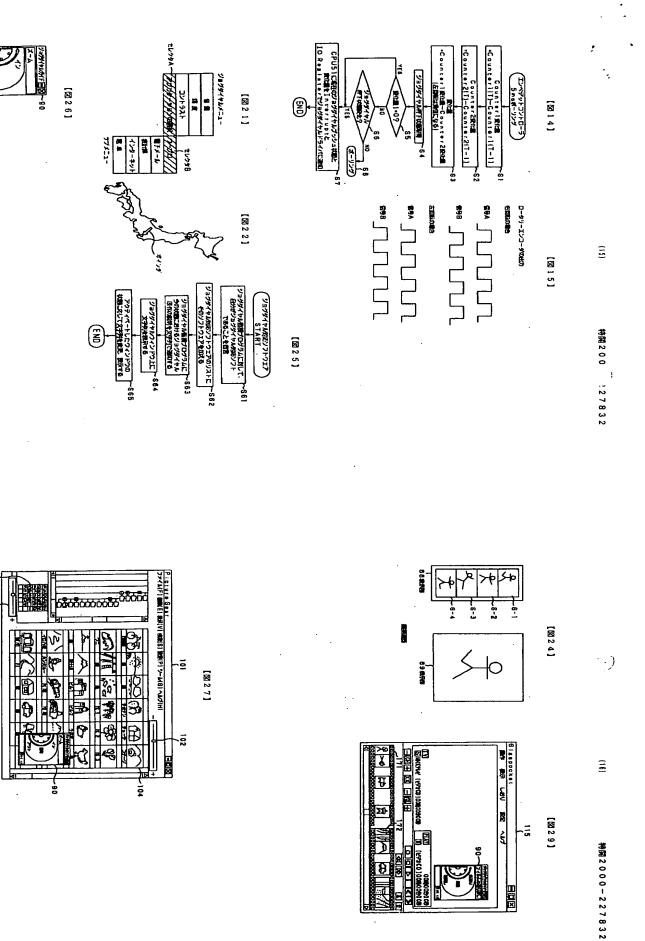






[図2]





(17)

[28 2 8]

機品川造丁目まで Ξ

フロントスージの続き

(12) 免明者 山口 神弘 東京都品川区北品川 6 丁目 7 春35号 ソニ 一株式会社内

(15) 発明者 山本 亮 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ 一株式会社内